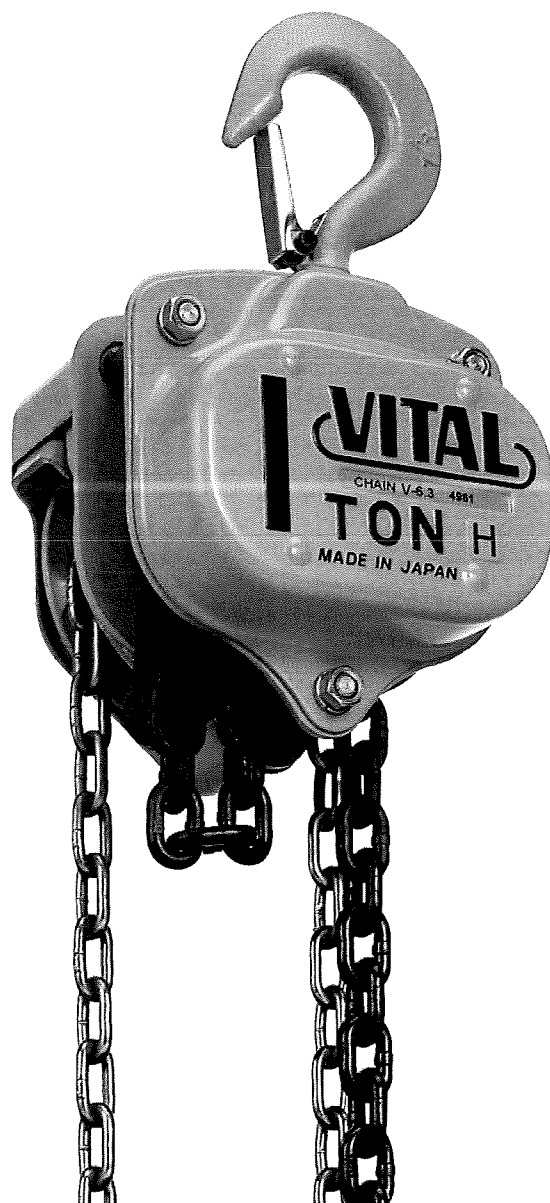


**バイタル**の

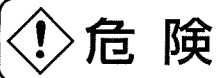
# チェーンブロック

## 取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、紛失しないように大切に保管してください。



# 8つの安全厳守事項



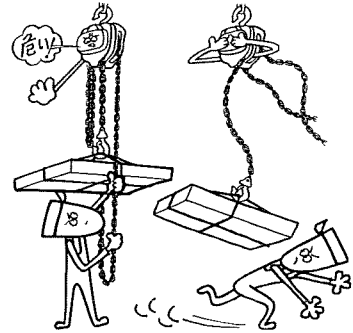
**危険**

チェーンブロックは他の工具と異なり、重量物を扱う関係上、安全対策をおこなうと品物の破損とか、生命をなくする危険があります。

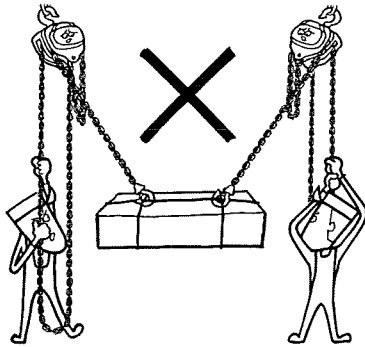
**1** 定格(表示トン数)以上の荷重をかけないこと



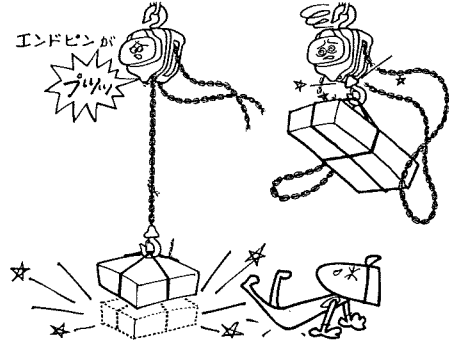
**2** 吊り荷の下には絶対立ち入らないこと



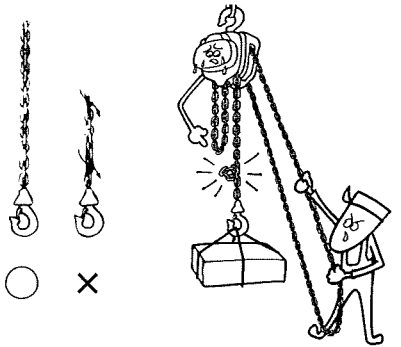
**3** 2丁づりはしないこと



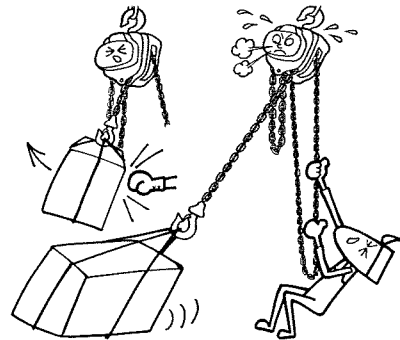
**4** 巻き下げすぎ、巻き上げすぎをしないこと



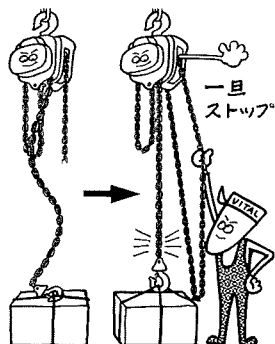
**5** チェーンがねじれたりキンクしたままで使用しない



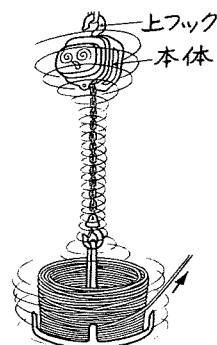
**6** 横引き、ショック引きなど、チェーンに瞬間的に力がかかるようなことはしないこと



**7** ロードチェーンがピンと張ったところで一旦停止し、次に10cm程揚げ降ろしをしてブレーキの点検をすること

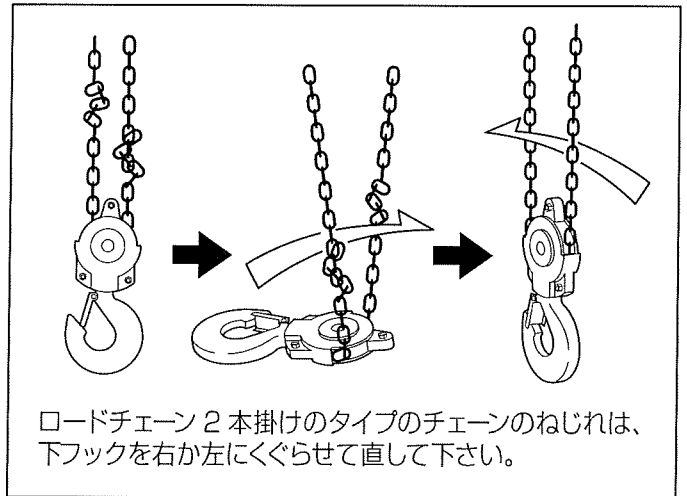
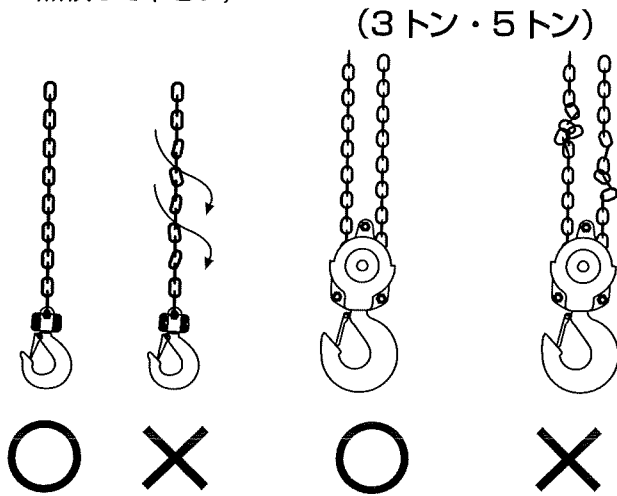


**8** 吊ったままで本体をぐるぐる機械的に回さないこと

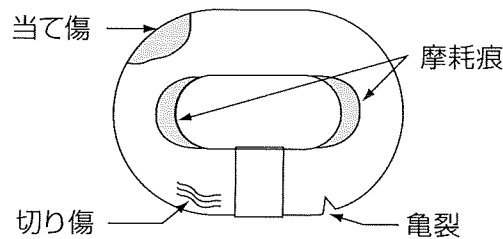


## 使用前の準備

1. ロードチェーンに軽く油をさして、リンクの動きを良くし、ロードチェーンの縦リンクが端から端までまっすぐに、ねじれないようにしてから使って下さい。(3トン・5トン用はトンボ返りによるチェーンのねじれがないか特によく点検して下さい)



2. ロードチェーンに傷や摩耗跡がついていないことを確認して下さい。



3. 上・下フック、ロードチェーンにムリな力がかからないように、上フックと吊り荷が一直線になるように取付けて下さい。

## 使い方

1. ハンドチェーンをホイールカバーの「U」方向に引くと巻上がり、「D」方向に引くと巻下がりますので、荷の距離までロードチェーンの長さを調整してから、フックを荷にかけて下さい。
2. 最初2～3回、荷を少しだけ巻上げ・巻下げをしてブレーキの調子を確認してから、作業にかけて下さい。(巻上げる時はブレーキのツメがカチカチと音が鳴り、巻下げる時は音がしないのが正常です)

## 使用後の処理

1. 汚れや水気をよく拭き取り、ロードチェーンと本体のロードチェーンの巻取り部分及び、フックの回転部分に油をさして下さい。
2. 湿気のない所に本体にホコリ等がかからないようにして吊るして保管して下さい。

## 形式の相違点

形式	本体軸受	下フックの構造	対応できる揚程	ロードチェーン	
				等級	安全率
VP5 型	メタル式	標準タイプ	標準揚程のみ	T	4 倍
VL5 型	ニードルベアリング	標準タイプ	標準揚程以外にも対応	T	4 倍
VH5 型	ニードルベアリング	スラストベアリング入り	標準揚程以外にも対応	V	5 倍

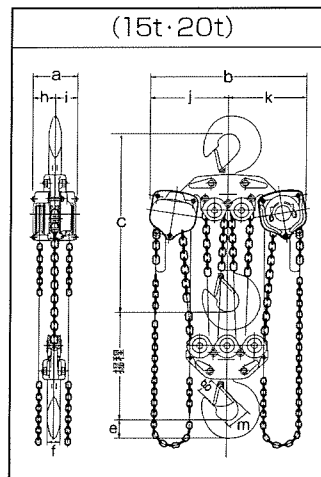
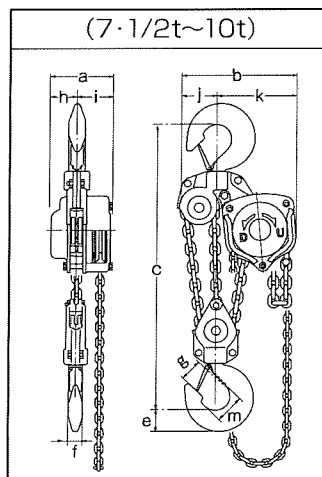
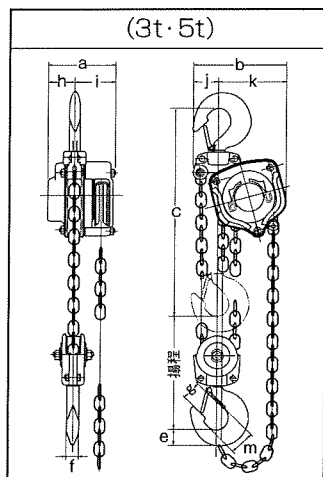
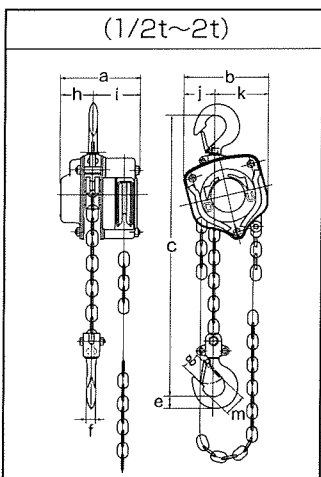
# 仕様表

種類 (呼び) (T)	形式			定格 荷重 (t)	標準 揚程 (m)	ハンドチェーン 標準長さ 二つ折り (m)	手引力		ロードチェーン 線径×掛数 (mm)	自重 (kg)	
	VH5	VL5	VP5				(kgf)	(N)		VH5	VL5 VP5
1/2	VH5-05	VL5-05	VP5-05	0.5	2.5	2.5	25	245	5.0×1	8.6	8.3
1	VH5-10	VL5-10	VP5-10	1.0	2.5	2.5	33	324	6.3×1	11.5	11.3
1 1/2	VH5-15	VL5-15	VP5-15	1.5	2.5	2.5	34	333	7.1×1	13.8	13.5
2	VH5-20	VL5-20	VP5-20	2.0	3	3	34	333	8.0×1	21.6	21
3	VH5-30	VL5-30	VP5-30	3.0	3	3	35	343	7.1×2	23	22
5	VH5-50	VL5-50	VP5-50	5.0	3	3	39	382	9.0×2	41	40
7 1/2	VH5-75	VL5-75	-	7.5	3.5	3.5	41	402	9.0×3	60.5	59
10	VH5-90	VL5-90	-	10	3.5	3.5	41	402	9.0×4	78	77
15	VH5-92	-	-	15	3.5	3.5	41x2	402x2	9.0×6	150	-
20	VH5-93	-	-	20	3.5	3.5	41x2	402x2	9.0×8	190	-

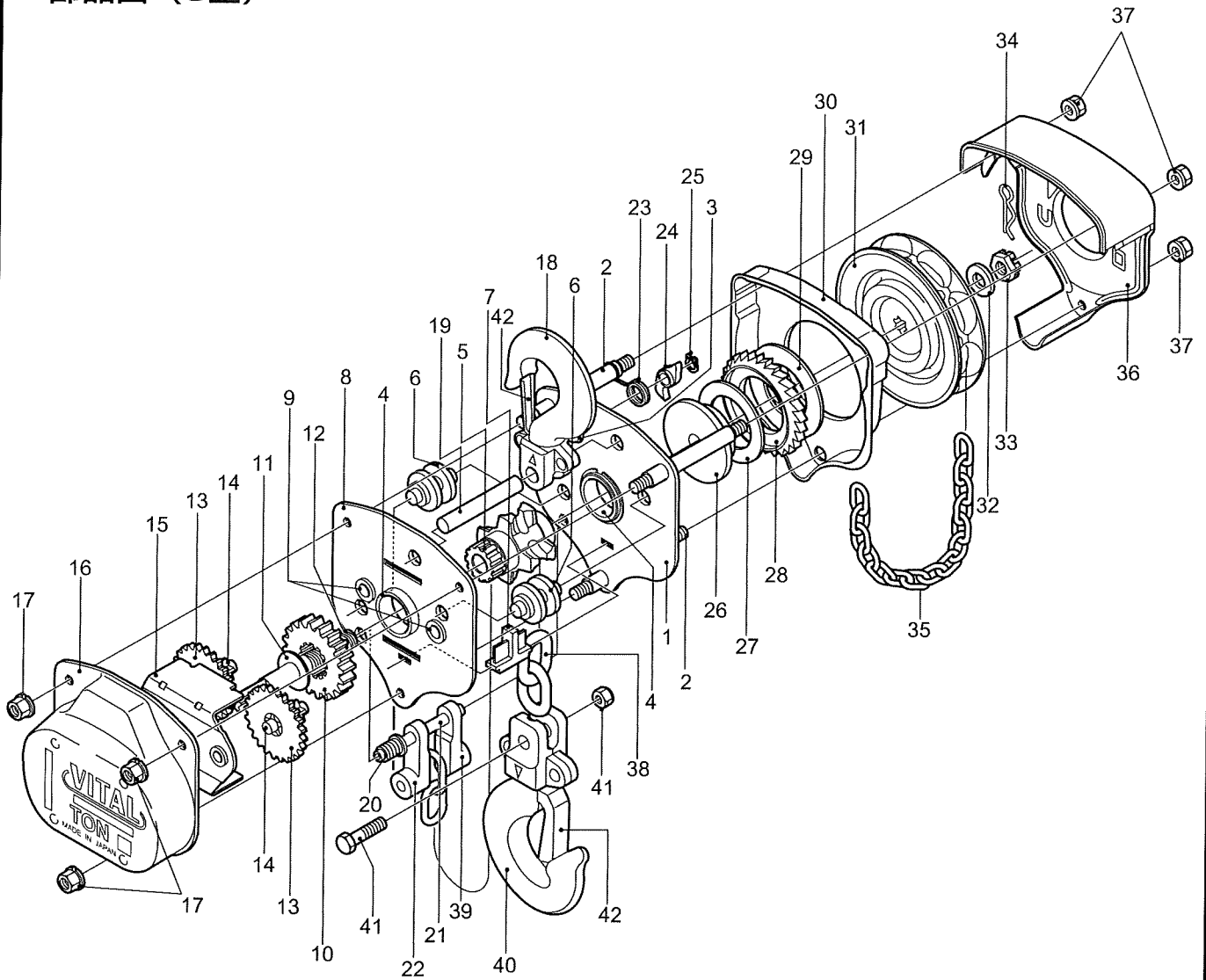
# 寸法表

(単位 mm)

種類 (呼び) (T)	形式			a	b	c		e	f	g	h	i	j	k	m
	VH5	VL5	VP5			VH5	VL5 VP5								
1/2	VH5-05	VL5-05	VP5-05	129	145	305	285	17.5	12	27	50	79	55	90	36
1	VH5-10	VL5-10	VP5-10	149	158	345	315	22	16	30	60	89	57	101	41
1 1/2	VH5-15	VL5-15	VP5-15	149	177	370	340	27	19.5	34	60	89	65	112	47
2	VH5-20	VL5-20	VP5-20	181	204	425	380	30	22	37	76	105	75	129	50
3	VH5-30	VL5-30	VP5-30	149	208	505	475	37.5	27	43	60	89	56	152	56
5	VH5-50	VL5-50	VP5-50	181	263	635	600	47	34	47	76	105	68	195	63
7 1/2	VH5-75	VL5-75	-	181	354	740	700	61	42	67	76	105	118	236	87
10	VH5-90	VL5-90	-	181	367	760	740	67	52	67	76	105	106	261	87
15	VH5-92	-	-	209	730	850	-	85	62	84	104.5	104.5	365	365	110
20	VH5-93	-	-	209	858	870	-	90	72	84	104.5	104.5	429	429	110



# 部品図 (5型)



組番	部品名	部品No.	員数	組番	部品名	部品No.	員数	組番	部品名	部品No.	員数
1	ガワイタ 1 組	Z101a	1	18	上フック組	Z701a	1	36	手車カバー	Z106	1
2	(ステーボルト)	Z103	3	19	天井ピン	Z703	1	37	本体ナット	Z911	3
3	(ツメピン)	Z306	1	20	エンドバネ	Z707	1	38	ロードチェーン	H820	1
4	ニードルベアリング	Z204	2	21	エンドピン	Z706	1	39	エンドアンカー A	Z717A	1
	大メタル	Z214	2	22	エンドアンカー-B	Z717B	1	40	下フックL組	Z709La	1
5	ロードシーブ	Z203	1	23	ツメバネ	Z305	1		下フックH組	Z709Ha	1
6	ガイド	Z109	2	24	ツメ	ZT304	1	41	チェーンボルト・ナット	Z705a	1
7	ケリ	Z110	1	25	スナップリング	Z307	1	42	安全金具組	Z740a	2
8	ガワイタ 2 組	Z102a	1	26	ハブ	Z301	1				
9	(小メタル)	Z205	4	27	ブレーキ板 B	Z302B	1				
10	第 1 ギヤ	Z206	1	28	ツメグルマ	Z303	1				
11	ピニオンワッシャー	Z210	1	29	ブレーキ板 A	Z302A	1				
12	ピニオンギヤ	Z209	1	30	ブレーキカバー	Z105	1				
13	第 2 ギヤ	Z207	2	31	ハンドホイール	Z202	1				
14	第 3 ギヤ	Z208	2	32	手車ワッシャー	Z201	1				
15	オサエワク組	Z211a	1	33	ピニオンナット	Z902	1				
16	ギヤカバー	Z108	1	34	コッターピン	Z905	1				
17	本体ナット	Z911	3	35	ハンドチェーン	Z800	1				

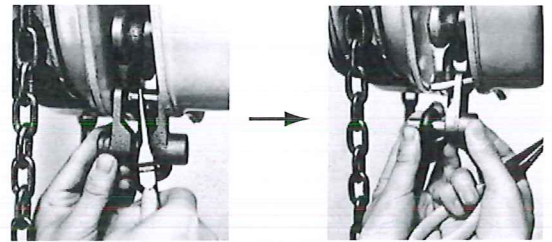
### <注意事項>

- 2(スチールボルト)と3(ツメピン)は、1(ガワイタ1組)にセットされています。
- 4のニードルベアリングはVL5とVH5専用で、大メタルはVP5専用です。
- 9(小メタル)は、8(ガワイタ2組)と15(オサエワク組)にそれぞれ2ヶずつセットされています。
- 11(ピニオンワッシャー)は1/2トン用のみです。
- 18(上フック組)は、42(安全金具)がセットされています。
- 22(エンドアンカー B)はピン付きの方で、39(エンドアンカー A)はピン無しです。
- 40の下フックL組はVP5とVL5専用で、下フックH組はVH5専用です。どちらも42(安全金具)がセットされています。
- 43(フック)には42(安全金具組)がセットされています。
- 47(コマ用ニードルベアリング)は、5トン用には大小1組が必要です。
- 48(ワクボルトナット)は、3トン用には2ヶ・5トン用には3ヶが必要です。
- 49(丸ワッシャー)と50(UナットL)は、5トン用には不要です。

## 分解・組立の仕方

### 1. ロードチェーンの外し方：

21(エンドピン)をラジオペンチで右図のようにずらしながら、39(エンドアンカー A)を取り外してロードチェーンをエンドアンカーから分離させてから、ハンドチェーンの操作でロードチェーンを巻下げていくとロードチェーンを本体から取り外すことができます。

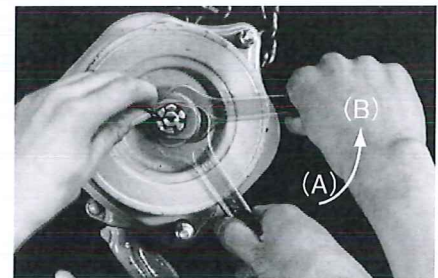


### 2. ハンドチェーン・ホイール・ブレーキ部分の分解：部品図の右端から順番に分解して下さい。

### 3. ギヤ部分・中央部分の分解：部品図の左端から順番に分解して下さい。

### 4. 組み立て方：部品図の組番の順序で組み立てて下さい。

### 5. ブレーキ調整の仕方：(右図の通りです。)



- ⓐ最後まで締めつけた状態
- ⓑAの状態から、すこしゆるめてから、34(コッターピン)を入れてください。

## 整備と点検の仕方

部品に変形(伸び、キズ、摩耗、割れ、曲がり等)が発生すれば、必ず部品交換をして下さい。

### 1. <分解・組立の仕方-1>により、38(ロードチェーン)・22・39(エンドアンカー A・B)・40(下フック)・41(ボルト・ナット)等に変形がないか。

### 2. <分解・組立の仕方-2>により、36(手車カバー)、31(ハンドホイール)、30(ブレーキカバー)、27・29(ブレーキ板)に変形がないか。24(ツメ)が正常に作動するか。

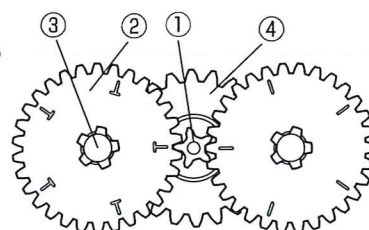
(注) ブレーキの不具合が発生したときは、23(ツメバネ)が汚れ等でバネの効力が奪われ24(ブレーキツメ)が正常に作動しなくなっている場合がありますので、23(ツメバネ)と土台のピンに付着している汚れなどをブラシなどできれいにし油を注油してから組み直して下さい。

### 3. <分解・組立の仕方-3>により、16(ギヤカバー)、10(第1ギヤ)・12(ピニオンギヤ)・13・14(第2-3ギヤ)、1・8(ガワイタ1・2)、18(上フック組)、6(ガイド)、7(ケリ)、5(ロードシーブ)、等に変形がないか。

### 4. 組み立てに際しては、各部品を洗い油等でよく洗って下さい。

また回転部分には、グリスを注油して下さい。

ギヤの合せ方は1.5トン用と3トン用のみ、右図のように第2ギヤの(+)と(-)の刻印が、ピニオンを挟んで内側で向かい合うようにして下さい。

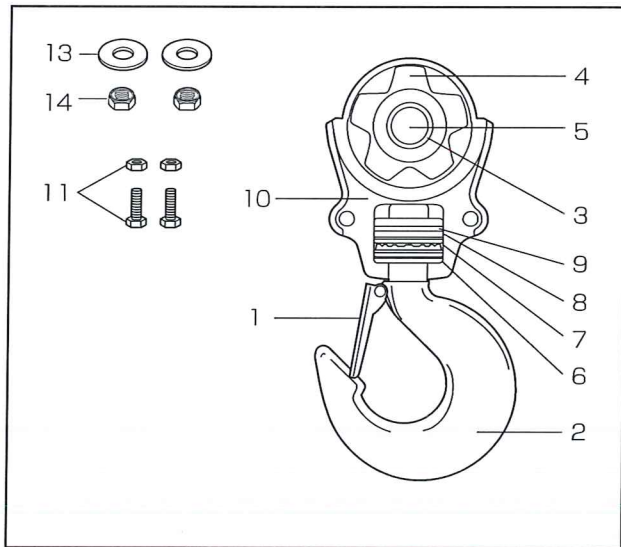


- ①Z209(ピニオンギヤ)
- ②Z207(第2ギヤ)
- ③Z208(第3ギヤ)
- ④Z206(第1ギヤ)

### 5. 27(ブレーキ板 B)、29(ブレーキ板 A)、26(ハブ)、28(ツメグルマ)、31(ハンドホイール)のそれぞれのブレーキ板との接触するマサツ面はよく拭いてから、それぞれを組んで下さい。注油をする必要はありません。



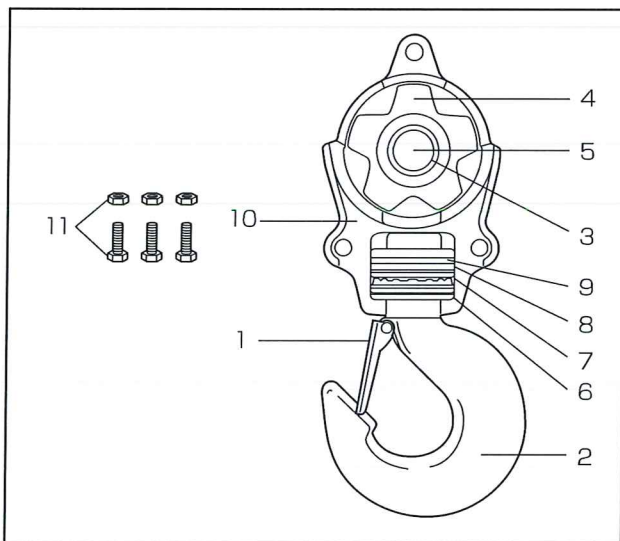
## <チェーンブロック VP5-30・VL5-30・VH5-30 (3ton) 用下フック部品図>



	部品番号	部品名	所要
1	Z740a-30	安全金具組	1
2	Z701-30	フックのみ	1
	Z709-30	下フックH	
* 3	Z724-30	コマ用ニードルベアリング	2
4	Z725-30	コマ	2
5	Z726-30	コマジク	2
* 6	Z713-30	スラストワッシャー	1
* 7	Z714-30	スラストベアリング	1
* 8	Z718-30	Cリング	1
* 9	Z719-30	Oリング	1
* 10	Z721L-30	ワクL	2
	Z721H-30	ワクH	
11	Z922a-30	ワクボルトナット	2
13	W-32	丸ワッシャー	2
14	NU-12L	UナットL	2
*	Z709La-30	下フックL組一式	1
	Z709Ha-30	下フックH組一式	

上表の\*印はVH5シリーズ用です。

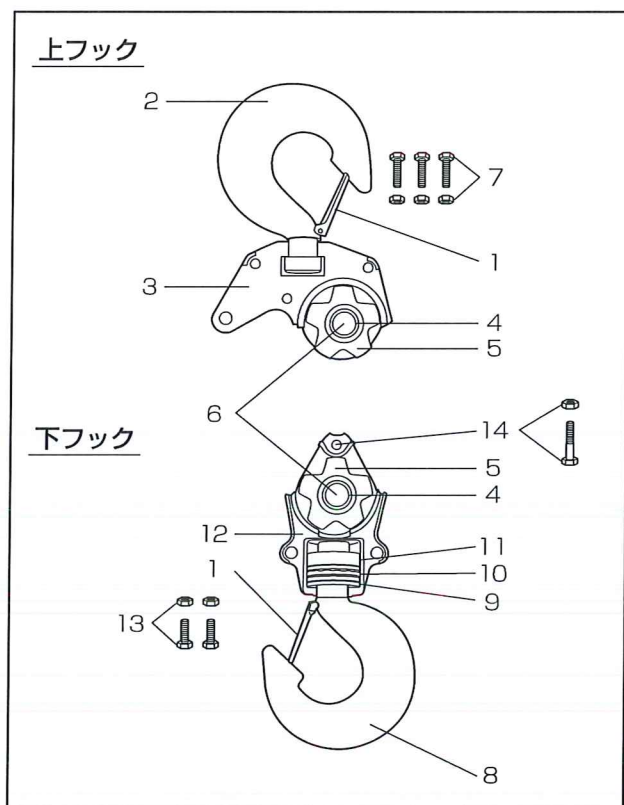
## <チェーンブロック VP5-50・VL5-50・VH5-50 (5ton) 用下フック部品図>



	部品番号	部品名	所要
1	Z740a-50	安全金具組	1
2	Z701-50	フックのみ	1
	Z709-50	下フックH	
* 3	Z724-50	コマ用ニードルベアリング	2
4	Z725-50	コマ	2
5	Z726-50	コマジク	2
* 6	Z713-50	スラストワッシャー	1
* 7	Z714-50	スラストベアリング	1
* 8	Z718-50	Cリング	1
* 9	Z719-50	Oリング	1
* 10	Z721L-50	ワクL	2
	Z721H-50	ワクH	
11	Z922a-50	ワクボルトナット	3
*	Z709La-50	下フックL組一式	1
	Z709Ha-50	下フックH組一式	

上表の\*印はVH5シリーズ用です。

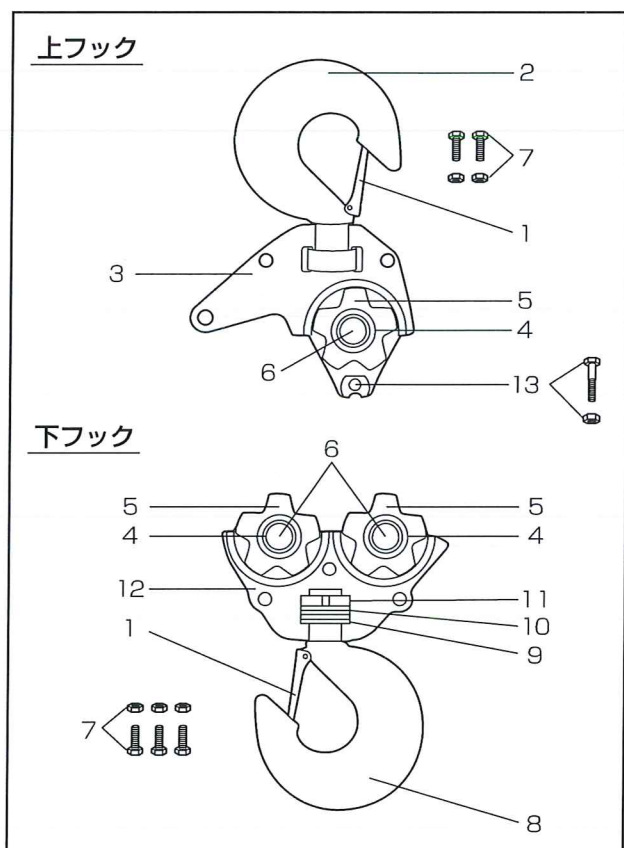
## <チェーンブロック VL5-75・VH5-75 (7.5ton) 用上・下フック部品図>



	部品番号	部品名	所要
	1	Z740a-75 安全金具組	2
	2	Z701-75 フックのみ	1
	3	Z710A-75 ウデギA	1
		Z710B-75 ウデギB	1
	4	Z724-50 コマ用ニードルベアリング	2
	5	Z725-50 コマ	2
	6	Z726-50 コマジク	2
	7	Z922a-90 ワクボルトナット	3
	8	Z701-75 フックのみ	1
*		Z709-75 下フックH	
*	9	Z713-75 スラストワッシャー	1
*	10	Z714-75 スラストベアリング	1
*	11	Z718-75 Cリング	1
	12	Z721L-75 ワクL	2
*		Z721H-75 ワクH	
	13	Z922a-75 ワクボルトナット	2
	14	Z705a-50 チェーンボルトナット	1
	*	Z701a-75 上フック組一式	1
		Z709La-75 下フックL組一式	1
		Z709Ha-75 下フックH組一式	

上表の\*印はVH5シリーズ用です。

## <チェーンブロック VL5-90・VH5-90 (10ton) 用上・下フック部品図>

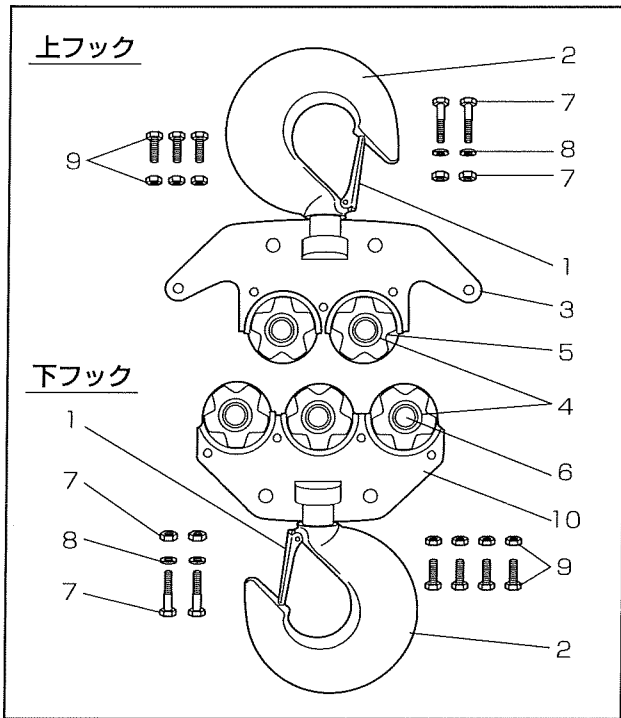


	部品番号	部品名	所要
	1	Z740a-90 安全金具組	2
	2	Z701-90 フックのみ	1
	3	Z710A-90 ウデギA	1
		Z710B-90 ウデギB	1
	4	Z724-50 コマ用ニードルベアリング	3
	5	Z725-50 コマ	3
	6	Z726-50 コマジク	3
	7	Z922a-90 ワクボルトナット	5
	8	Z701-90 フックのみ	1
*		Z709-90 下フックH	
*	9	Z713-90 スラストワッシャー	1
*	10	Z714-90 スラストベアリング	1
*	11	Z718-90 Cリング	1
	12	Z721L-90 ワクL	2
*		Z721H-90 ワクH	
	13	Z705a-50 チェーンボルトナット	1
	*	Z701a-90 上フック組一式	1
		Z709La-90 下フックL組一式	1
		Z709Ha-90 下フックH組一式	

上表の\*印はVH5シリーズ用です。

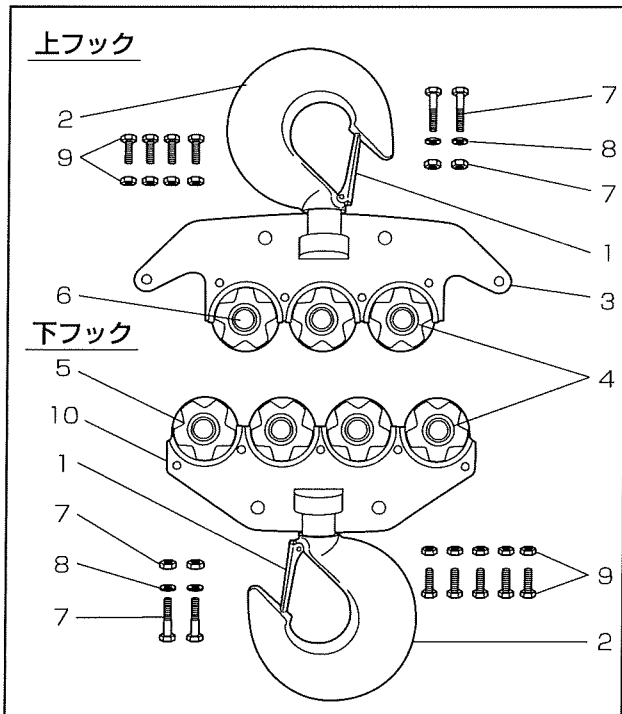


## <チェーンブロック VH5-92 (15ton) 用上・下フック部品図>



	部品番号	部品名	所要
1	Z740a-92	安全金具組	2
2	Z701-92	フックのみ	2
3	Z710-92	ウデギ	2
4	Z724-50	コマ用ニードルベアリング	5
5	Z725-50	コマ	5
6	Z726-50	コマジク	5
7	Z922a-92	ワクボルトナット	4
8	SW-20	スプリングワッシャー	4
9	Z922a-90	ワクボルトナット	7
10	Z721-92	ワク	2
	Z701a-92	上フック組一式	1
	Z709a-92	下フック組一式	1



## チェーンブロック VH5-93 (20ton) 用上・下フック部品図



	部品番号	部品名	所要
1	Z740a-93	安全金具組	2
2	Z701-93	フックのみ	2
3	Z710-93	ウデギ	2
4	Z724-50	コマ用ニードルベアリング	7
5	Z725-50	コマ	7
6	Z726-50	コマジク	7
7	Z922a-92	ワクボルトナット	4
8	SW-20	スプリングワッシャー	4
9	Z922a-90	ワクボルトナット	9
10	Z721-93	ワク	2
	Z701a-93	上フック組一式	1
	Z709a-93	下フック組一式	1

## 使用基準

チェーンブロックを使用する際、以下の事柄に注意して下さい。

	1	ギヤカバーの定格荷重の表示が判別出来ない物は使用しないで下さい。
	2	検査以外に定格荷重を超える荷重を絶対に掛けないで下さい。
	3	当社以外のロードチェーンを使用しないで下さい。
	4	急激な荷重が掛かるような操作はしないで下さい。
	5	揚程不足のチェーンブロックは使用しないで下さい。
	6	上フック・下フックに安全金具がない物や、安全金具の効果がない物は使用しないで下さい。
	7	上フック・下フックに損傷や変形がある物は使用しないで下さい。
	8	フックに荷を掛けるときは、必ずフックの軸の延長線上の位置で掛けて下さい。フックの先端で絶対に荷を掛けないで下さい。
	9	フックや本体が支点になるような使用はしないで下さい。
	10	エンドアンカーが変形したもの又は、外れているものは使用しないで下さい。
	11	ロードチェーンに損傷や変形がある物は使用しないで下さい。
	12	ロードチェーンを荷に巻きつけて使用しないで下さい。
	13	ロードチェーンを鉄板などの角に当てて使用しないで下さい。
	14	ロードチェーンを溶接作業のアースにしないで下さい。
	15	ロードチェーンの継ぎ足しや溶接は絶対にしないで下さい。
	16	チェーンブロックの2丁吊りは絶対にしないで下さい。
	17	巻上げ過ぎ、巻下げ過ぎをしないで下さい。
	18	吊ってある荷物の下に立ち入らないで下さい。
	19	吊り荷の上に乗って操作しないで下さい。
	20	荷を吊ったままで長時間放置しないで下さい。
	21	使用前にロードチェーンにねじれやもつれがないかを点検し、ねじれやもつれがある場合は、これを正しく修正してから使用して下さい。
	22	チェーンブロックは、 $-40^{\circ}\text{C}\sim+60^{\circ}\text{C}$ （湿度は100%以下）の範囲内で使用して下さい。水中では使用しないで下さい。
	23	製品や部品を絶対に改造しないで下さい。
	24	チェーンブロックを放り投げたり、引きずったりしないで下さい。
	25	使用前に日常点検を行って下さい。また定期点検(*1)も行って下さい。
	26	操作中に手引力が異常に大きくなった場合は、直ちに操作を中止して下さい。また、手引力が通常より大きくなったチェーンブロックは使用しないで下さい。
	27	ロードチェーンには、潤滑剤を塗布して使用して下さい。
	28	歯車、軸受、その他摩耗のおそれがある箇所には、潤滑剤を塗布して使用して下さい。
	29	長期間で使用にならないときは、適切な錆止めをした上で塵埃等が付着しないようにして保管して下さい。
	30	特殊な使い方をするときは、当社へお問い合わせ下さい。

(\*1)定期点検は使用頻度によって異なりますが、6ヶ月または1年ごとに行って下さい。

## 点検基準

チェーンブロックを点検する際、以下の事柄に注意して下さい。

1	日常点検における点検項目、点検方法および点検基準は、「点検要領」が基本となります。ただし、使用頻度が多い場合または特殊状態で使用される場合には、この点検項目以外にも点検するようにして下さい。
2	定期点検については、「点検要領」を基に行ってください。
3	チェーンブロックを修理した場合には、修理後、「点検要領」の定期点検項目に沿って点検し、荷重を掛けて正常に作動することを確認して下さい。
4	交換部品は、当社純正部品を使用して下さい。

JIS B 8802 に規定されている「作動試験における作動荷重」を当社製品の定格荷重で換算すると下表の通りです。

定格荷重	0.5t	1t	1.5t	2.0t	3.0t	5.0t
作動荷重	0.75t	1.5t	2.25t	3.0t	4.5t	7.5t
定格荷重	7.5t	10t	15t	20t		
作動荷重	9.5t	12.5t	18.75t	25t		

(実際の作業では定格荷重以上を負荷しないで下さい。)

# 点検要領

点検の種類		点検項目	点検方法	点検基準
日常点検	定期点検			

## <表示>

○	○	表示(ギヤカバー及び、銘板)	目視	表示の有無や読めないものは取替えること。
---	---	----------------	----	----------------------

## <作動>

○	○	巻上げ・巻下げ機能	無負荷で巻上げと巻下げを行う	巻上げでブレーキ装置のツメの音がすること。 巻上げ・巻下げの作動が円滑であること。
○	○	作動(*1)	定格荷重	ロードシーブと、ロードチェーン及び、コマ(3トン以上用の下フックの鎖遊車)とのかみ合いは、良好であること。 ブレーキは、確実に作動すること。 巻上げ・巻下げに際して、ロードチェーンにねじれやもつれがないこと。 巻きの手引力が著しく変わらないこと。

## <フック>

○	○	フックの開き	日常点検では目視 定期点検では測定	標準寸法と比較し、変形のないこと。 (使用前に主要寸法表を作成しておくこと。またフック「フック限界寸法」を基準にすること。)
○	○	変形	目視	曲がり及び、ねじれがないこと。
○	○	シャンク部の変形	日常点検では目視	フック金具とシャンク部に著しく隙間のないこと。
○	○	磨耗、腐食(錆つき)	定期点検では測定	著しい磨耗または腐食のないこと。
○	○	傷、その他有害な欠陥	目視または探傷試験による	亀裂、その他有害な欠陥のないこと。
○	○	安全金具	目視、作動	著しい磨耗や変形がなく、正常に機能すること。
○	○	コマ(3トン以上用の下フックの鎖遊車)	目視、作動	著しい磨耗や変形、及び亀裂や破損のないこと。

## <ロードチェーン>

○	○	ピッチの伸び	日常点検では目視 定期点検では測定	1リンクでも5%以上伸びているものは使用しないこと。 (使用前に基準寸法を作成しておくこと。また「ロードチェーン限界寸法」を基準にすること。)
○	○	磨耗		線径の磨耗が10%以上のものは使用しないこと。
○	○	変形	目視	変形のないこと。
○	○	傷、その他有害な欠陥	目視	亀裂、その他有害な欠陥のないこと。
○	○	腐食(錆つき)	目視	著しく錆が発生していないこと。
○	○	エンドアンカー	目視	ピンが曲がったり、アンカーが外れていないこと。

## <ボルト、ナットなど>

○	○	各部ナット・リベット等	目視	日常点検では外部から見える箇所のナット、リベット等の脱落の有無と緩みのないこと。 定期点検では外部及び内部の上記部品の異常の有無。
---	---	-------------	----	--

# 点検要領

点検の種類		点検項目	点検方法	点検基準
日常点検	定期点検			

## <本体>

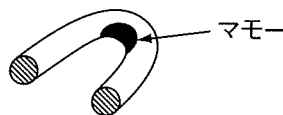
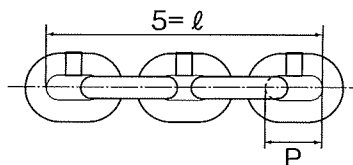
○	○	ガワイタ 1・2 組	目視	変形・破損及び、著しい腐食のないこと。
○	○	ギヤカバー、ブレーキカバー、手車カバー		変形・破損及び、著しい腐食のないこと。
○	○	ハンドホイール	目視	著しい変形・摩耗・腐食・亀裂がないこと。 汚れの付着がないこと。 回してみても異常な振れがないこと。
-	○	第1ギヤ・第2-3ギヤ組	分解して目視または測定	各歯に段がついたり、変形や破損がないこと。
-	○	ロードシーブ		著しい摩耗や変形、亀裂や破損及び錆つきのないこと。
-	○	ピニオン、ハブ		著しい摩耗やねじ目などの破損及び錆つきのないこと。
-	○	軸受		摩耗・亀裂・破損・錆つきなど有害な欠陥のないこと。
-	○	ブレーキ板		厚さ均一で 2mm 以下でないこと。 摩擦面の傷・汚れの付着がないこと。
-	○	ブレーキツメ及び、ツメグルマ		著しい摩耗・錆つき・破損がないこと
-	○	ガイド		著しい摩耗・錆つき・破損がないこと。
-	○	ケリ		著しい錆つき・変形・破損がないこと。
-	○	ステーボルト		ガタつき・曲がり・ネジ部の傷みがないこと。
-	○	その他		その他、使用上有害な欠陥のないこと。

注(\*1)分解組立後、再度作動について点検すること。

## ロードチェーンの限界寸法 (mm)

\*1ヶ月間に1度の定期点検をして下さい。

定格荷重	線径	ピッチ P	5リンク寸法	
			標準	限界
0.5t	5.0	15	75	76
1.0t	6.3	19.1	95.5	97
1.5t	7.1	21	105	107
2.0t	8.0	24	120	122
3.0t	7.1	21	105	107
5.0t	9.0	27	135	138
7.5t				
10t				
15t				
20t				

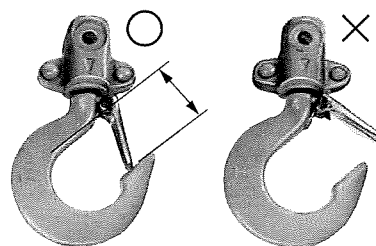


マモーのひどいのは取替えて下さい

## フックの限界寸法 (mm)

\*1ヶ月間に1度の定期点検をして下さい。

定格荷重	フック開き寸法	
	標準	限界
0.5t	27	30
1.0t	30	34
1.5t	34	37
2.0t	37	41
3.0t	43	47
5.0t	47	52
7.5t	67	74
10t	67	74
15t	84	93
20t	84	93



安全金具がはずれる程伸びたフックは使用しないで下さい